

CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.11 for Windows インストールガイド (AP パッケージ運用管理機能)

© 2026(Apr) NEC Corporation

- はじめに
- 製品導入の事前準備
- 本製品のインストール
- 本製品のアンインストール
- 本製品のアップデートインストール
- 本製品のダウングレードインストール
- 注意・制限事項

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2015.03	新規作成
2.0	2016.03	バージョンアップに伴い改版
3.0	2017.04	バージョンアップに伴い改版
4.0	2018.04	バージョンアップに伴い改版
5.0	2018.06	商標の記載の修正
6.0	2019.04	バージョンアップに伴い改版
7.0	2020.04	バージョンアップに伴い改版
8.0	2021.04	バージョンアップに伴い改版 インストール先のデフォルトフォルダーを変更
9.0	2022.04	バージョンアップに伴い改版
10.0	2023.04	バージョンアップに伴い改版
11.0	2024.04	製品の 64bit 化に伴い、デフォルトインストールフォルダーを変更
12.0	2025.04	バージョンアップに伴い改版
13.0	2026.04	バージョンアップに伴い改版

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.11 for Windows (以後、ProcessSaver と記載します) の AP パッケージ運用管理機能のインストール方法について説明します。

(1) 商標および登録商標

- ✓ CLUSTERPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ その他記載の製品名および会社名は、すべて各社の商標または登録商標です。
なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1.	はじめに	1
2.	製品導入の事前準備	2
2.1.	準備するもの	2
2.2.	動作要件	3
3.	本製品のインストール	4
3.1.	インストール	4
3.2.	インストール後の確認	9
3.3.	ファイル構成	10
4.	本製品のアンインストール	11
4.1.	ファイルのバックアップ	11
4.2.	アンインストール	12
5.	本製品のアップデートインストール	14
5.1.	アップデートインストール	14
6.	本製品のダウングレードインストール	15
6.1.	ダウングレードインストール	15
7.	注意・制限事項	16
7.1.	ダウングレードインストールにおける注意事項	16

1. はじめに

本書は、ProcessSaver のインストールおよびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

本書での表記規則について、下記のように定義します。

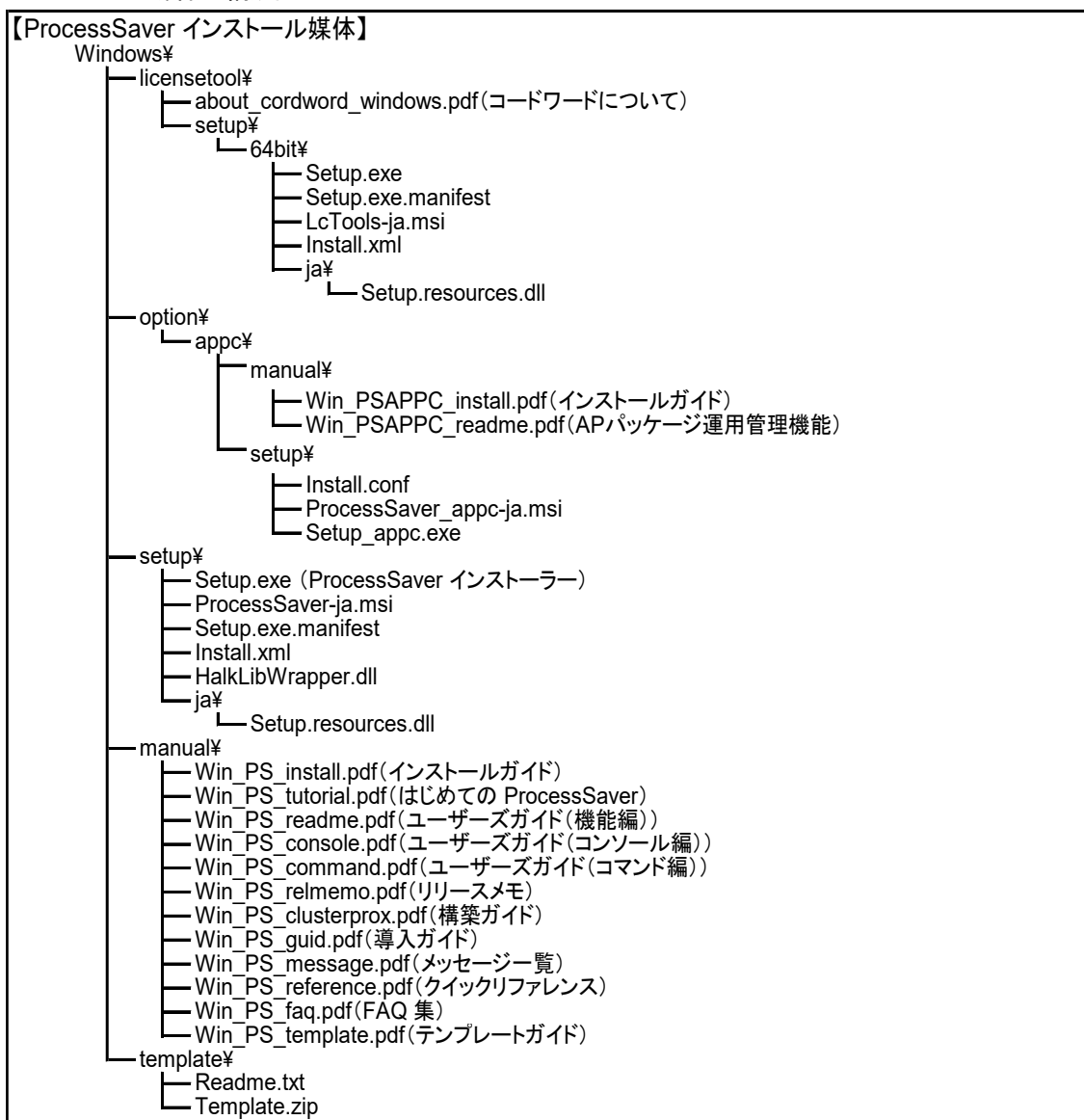
記号表記	使用方法	例
『』	画面名の前後	『Create Pfile』は、Pfile を作成する画面です。
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル名の前後	「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.11 for Windows インストールガイド」を参照してください。 「9. メッセージ一覧」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダー名の前後	【インストールフォルダー】¥HA¥ProcessSaver¥pfile¥【Pfile 名】
[]	項目名の前後 タブ名の前後	[ProcessSaver Console] を選択してください。 [Create Pfile] タブを選択してください。
太字	機能名	MsgCheckInterval を設定してください。
斜体、太字	ボタン名 チェックボックス名	OK を押してください。 LocalUser にチェックしてください。

2. 製品導入の事前準備

2.1. 準備するもの

本製品が含まれるインストール媒体を用意してください。本製品のインストーラーおよび各コンポーネントが、次のとおりインストール媒体に収録されていることを確認してください。

・インストール媒体の構成図



2.2. 動作要件

(1) ソフトウェア要件

本製品を利用するには、事前に ProcessSaver が導入されている必要があります。

(ProcessSaver は製品のバージョン 2.0 以上が必要です)

本製品単体では AP パッケージ運用管理機能は利用できませんのでご注意ください。

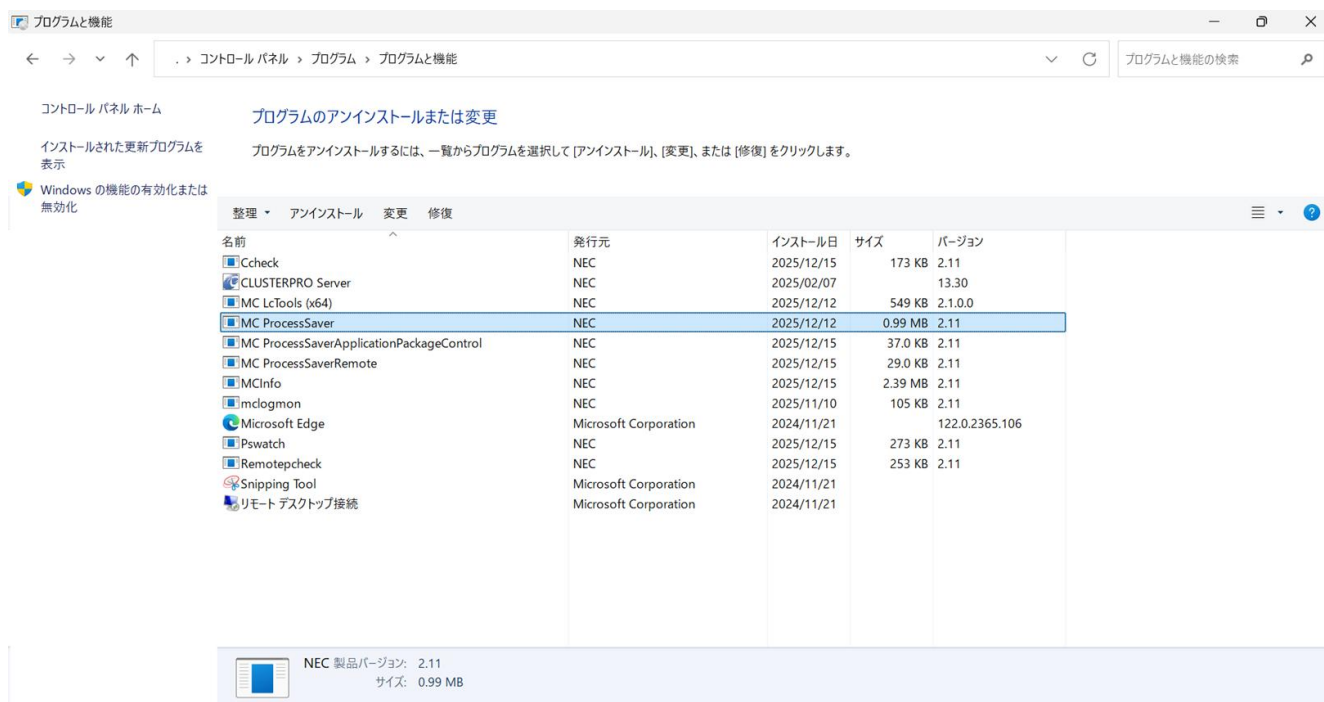
本製品を導入する前に、ProcessSaver が導入されていることを確認してください。

●インストールの有無を確認する

[スタート] メニュー - [コントロール パネル] - [プログラムと機能]

上記手順により、『プログラムと機能』を表示します。

一覧に [MC ProcessSaver] が登録されていることを確認してください。



3. 本製品のインストール

3.1. インストール

AP パッケージ運用管理機能のインストール手順について説明します。

- (1) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (2) 【Setup_appc.exe】を実行してください。
※【Setup_appc.exe】の所在については、「2.1.のインストール媒体の構成図」を参照してください。
実行すると下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。

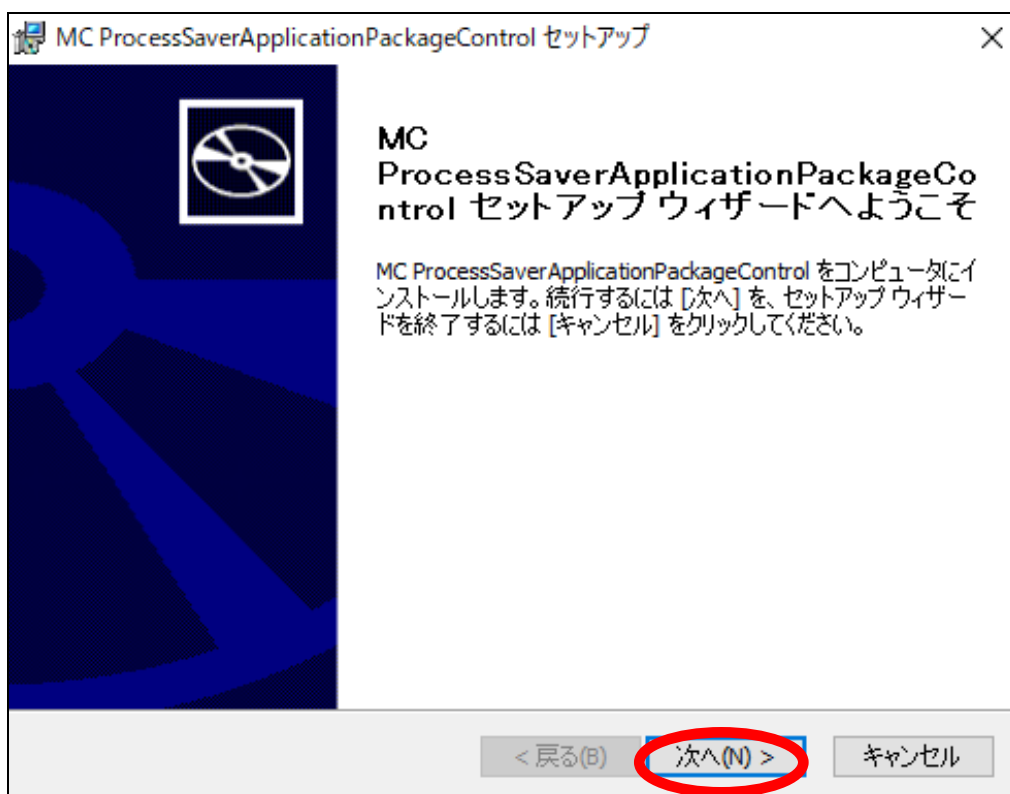


図 1 インストーラー準備画面

注意 Microsoft Windows Server 2025 以降において Setup_appc.exe を実行した際、セットアップ画面起動と同時に Windows Terminal が起動する場合がありますが、インストールに影響はありません。起動した Windows Terminal は無視してインストール手順に従ってセットアップ画面を操作してください。
なお、インストール終了後に Windows Terminal は自動で終了します。

- (3) インストール先のフォルダーを指定します。
指定したフォルダー配下に "HA%" が付加されて各ファイルがインストールされます。
デフォルトのインストール先ドライブは、最も空き容量の大きいドライブです。
通常は、C:%Program Files です。

デフォルトのままでもかまわない場合は、**次へ(N)** を押してください。

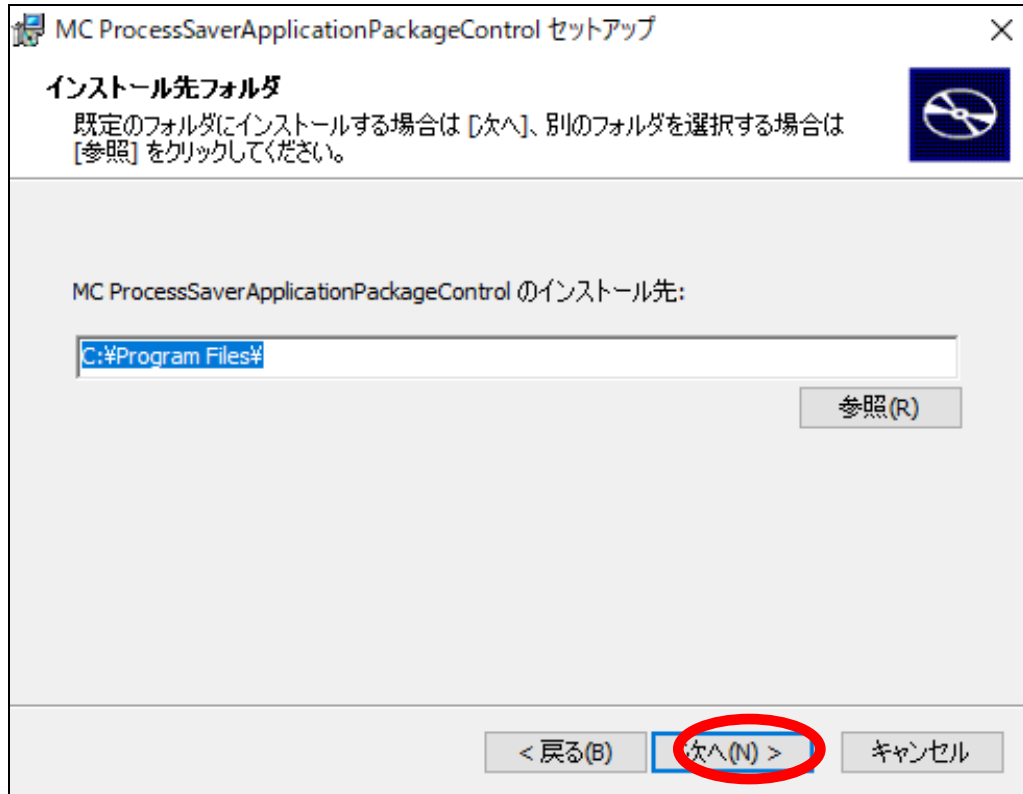


図2 インストール先のフォルダー表示画面

インストール先を変更する場合は、**参照(R)** を押してください。
下記画面が表示されます。
インストールするフォルダーを入力もしくは選択して、**OK** を押してください。

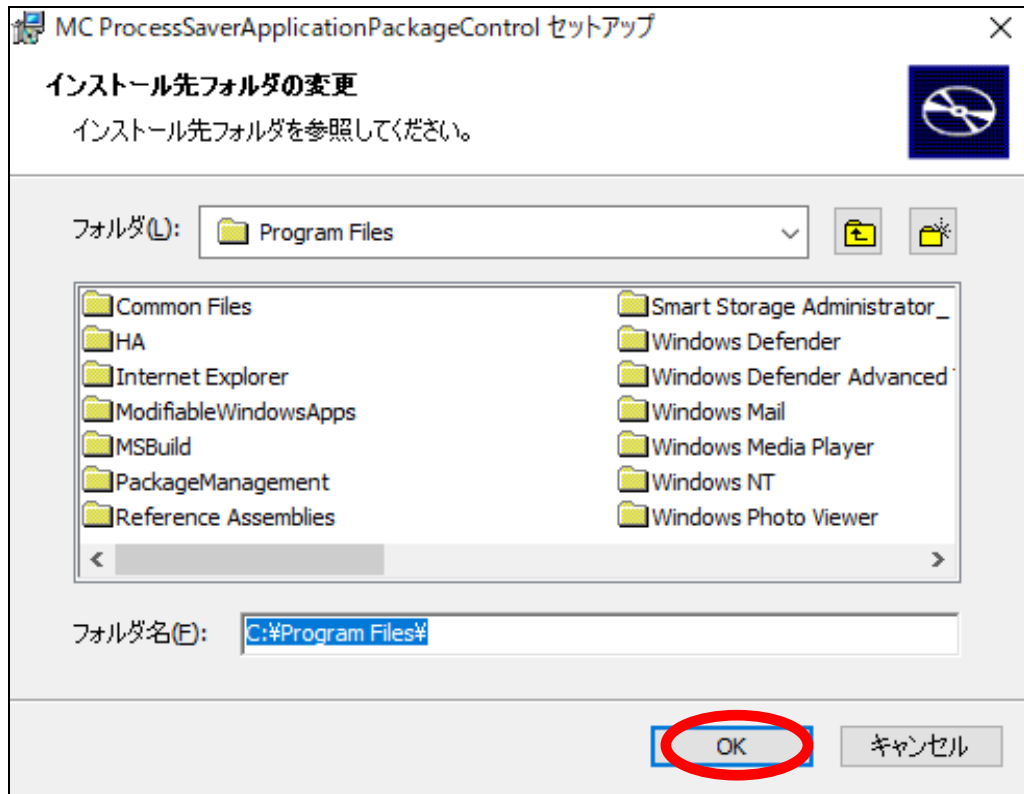


図3 インストール先のフォルダー変更画面

注意 インストール先のフォルダーには、ネットワークドライブ上のフォルダーは指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダーを指定してください。

- (4) **インストール(I)** を押してインストールを開始してください。

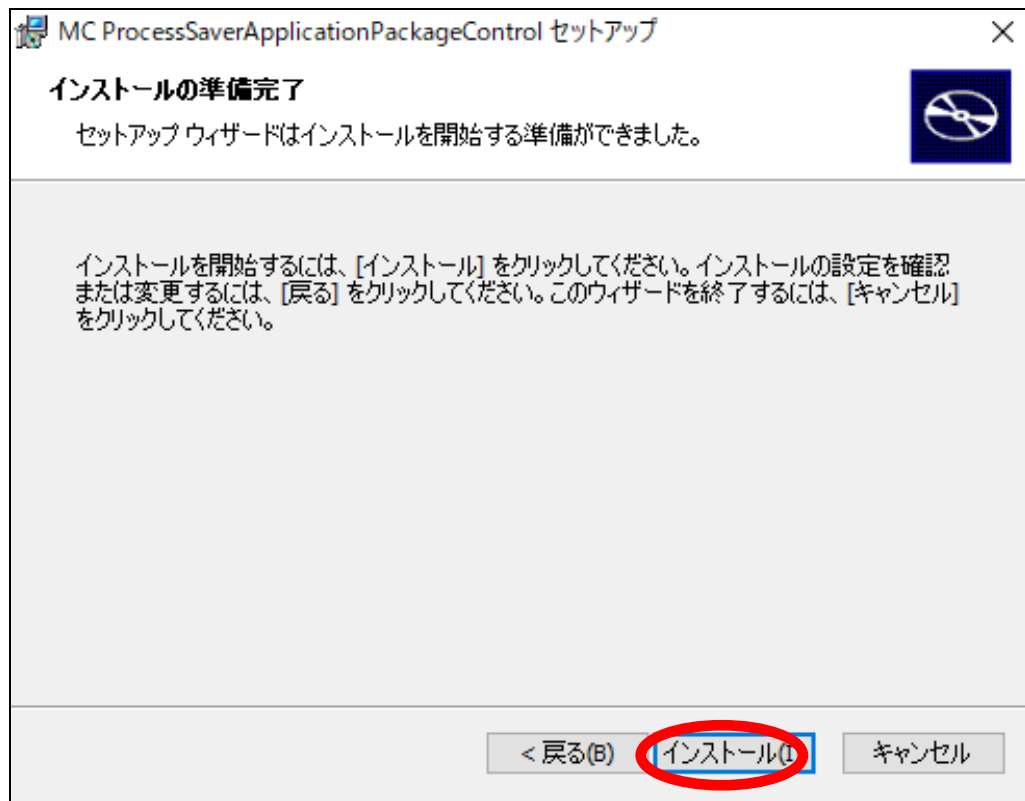


図4 インストール開始画面

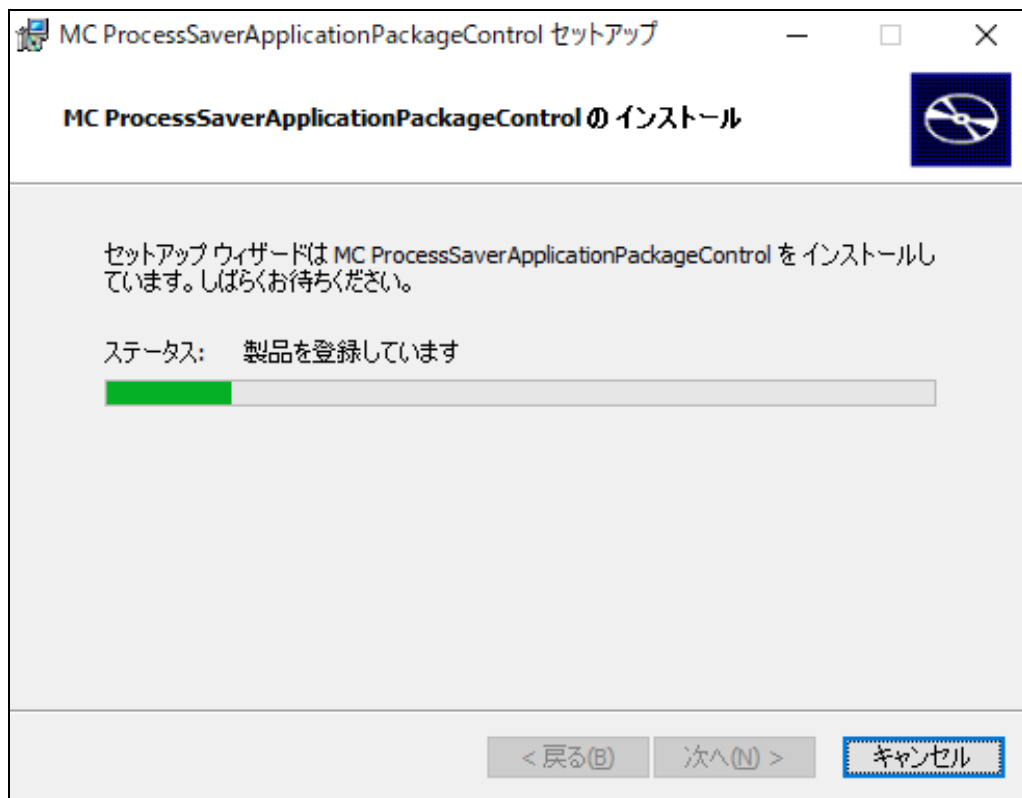


図5 インストール中の状態

- (5) AP パッケージ運用管理機能のインストールが完了すれば、下記画面が表示されます。
完了(F) を押して画面を終了してください。

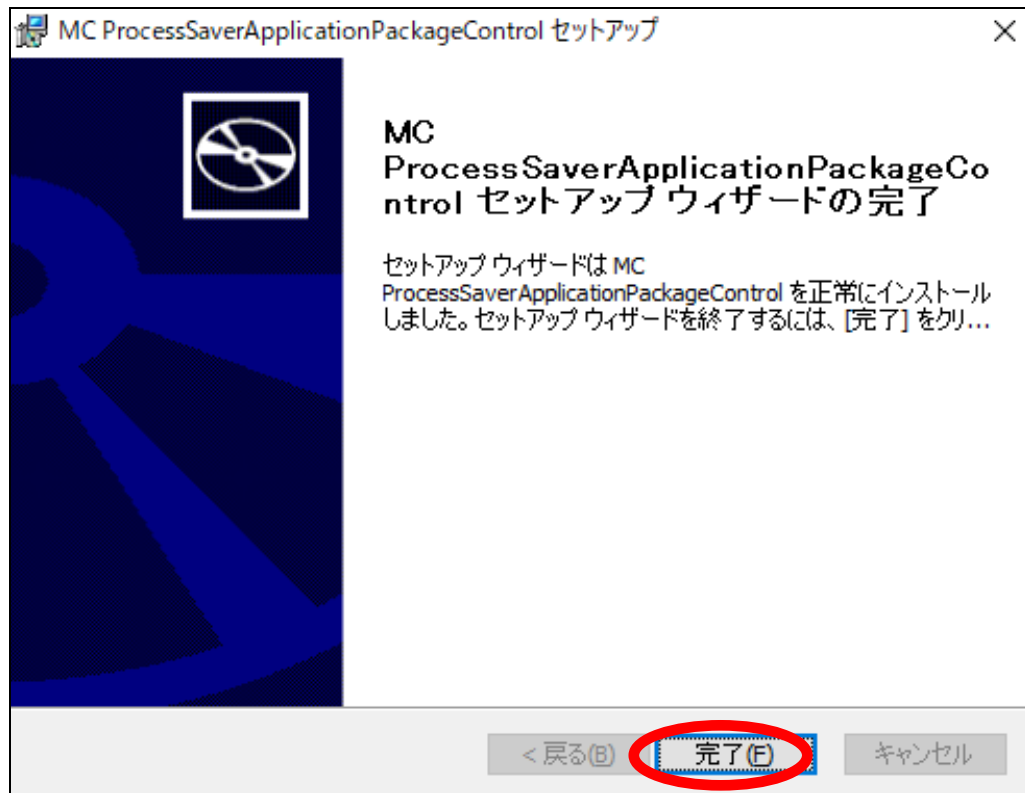


図6 インストール完了画面

以上で、AP パッケージ運用管理機能のインストールは終了です。

3.2. インストール後の確認

- (1) 『プログラムの追加と削除』で本製品がインストールされていることを確認してください。
スタートメニューから [コントロール パネル] → [プログラムと機能] を選択し、下記画面を表示してください。
一覧に [MC ProcessSaverApplicationPackgeControl] が登録されていることを確認してください。

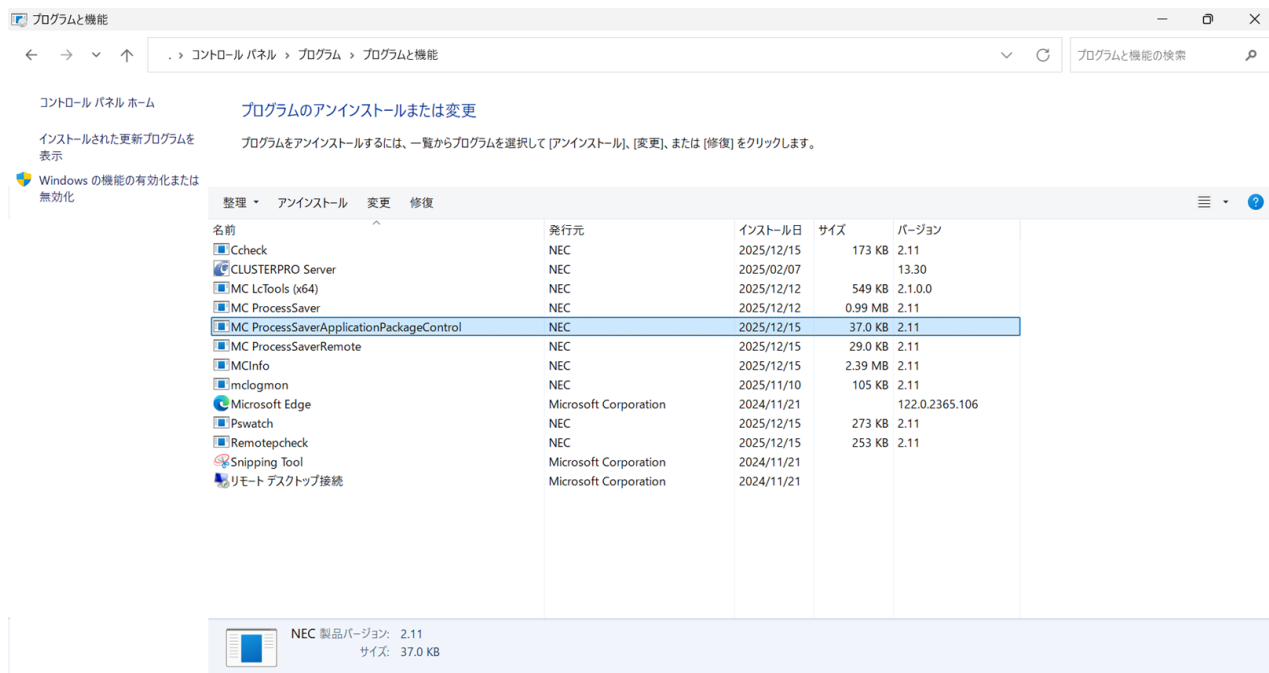
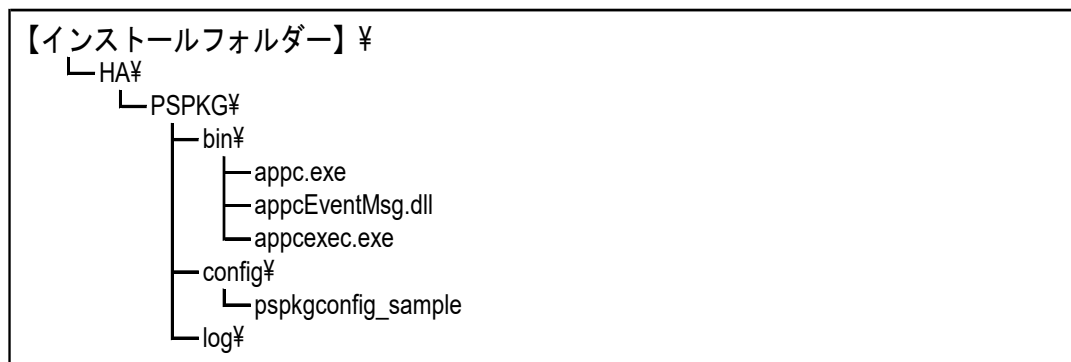


図7 『プログラムと機能』

3.3. ファイル構成

下記のとおり本製品がインストールされていることを確認してください。



※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、C:¥Program Files です。

4. 本製品のアンインストール

4.1. ファイルのバックアップ

設定ファイルやリソースファイルが必要な場合は、事前にバックアップしてください。
バックアップ対象のパスは下記のとおりです。

注意 インストール後に作成されたファイルは、アンインストール時には削除されません。

設定/リソースファイル

【インストールフォルダー】¥HA¥PSPKG 配下

・config

設定ファイルを保存しています。

・log

トレースログファイル等を保存しています。

※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、C:¥Program Files です。

4.2. アンインストール

AP パッケージ運用管理機能のアンインストール手順について説明します。

- (1) 下記手順により ProcessSaver のアンインストールを行います。
[スタート] メニュー → [コントロール パネル] → [プログラムと機能] を
選択してください。

- (2) 『プログラムと機能』が表示されますので、[MC ProcessSaverApplicationPackgeControl] を選択し、
アンインストール ボタンを押してください。

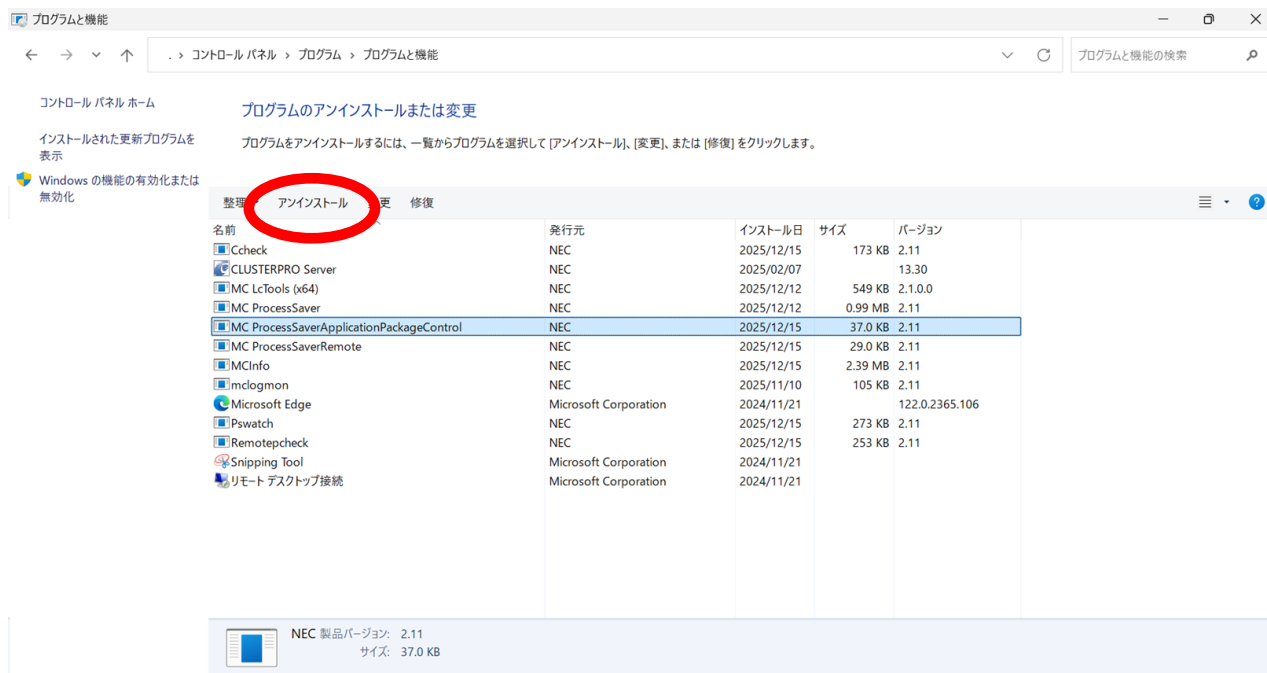


図 8 『プログラムと機能』

- (3) **アンインストール** ボタンを押すと下記画面が表示されます。
はい(Y) を押すと AP パッケージ運用管理機能のアンインストールが開始されます。

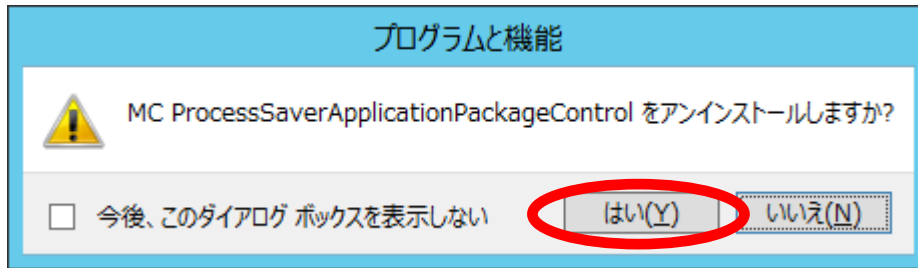


図9 削除確認画面

- (4) 削除されるのは、インストール時に作成されたフォルダーおよびファイルのみです。設定ファイル・ログファイルなど運用時に作成されたファイルについては、削除されません。これらのファイル(インストールフォルダー配下) が不要な場合は、削除してください。

以上で、AP パッケージ運用管理機能のアンインストールは終了です。

5. 本製品のアップデートインストール

5.1. アップデートインストール

AP パッケージ運用管理機能のアップデートインストール手順について説明します。

- (1) 現在インストールされている AP パッケージ運用管理機能の設定ファイルのバックアップの取得およびアンインストールを実施してください。
手順は「4.本製品のアンインストール」を参照してください。
- (2) アンインストール完了後、インストールを実施してください。
手順は「3.本製品のインストール」を参照してください。
- (3) 本バージョンの AP パッケージ運用管理機能のインストールフォルダーに手順(1)でバックアップしたファイルを適宜配置してください。

設定/リソースファイル

【インストールフォルダー】¥HA¥PSPKG 配下

・config

設定ファイルを配置します。

・log

トレースログファイル等を配置します。

※【インストールフォルダー】のデフォルトパスは、C:¥Program Files です。

- (4) 設定ファイルの再配置に伴い、設定ファイル内の AP パッケージ起動スクリプトのパスなど設定変更が必要な場合は適宜修正してください。

以上で、AP パッケージ運用管理機能のアップデートインストールは終了です。

6. 本製品のダウングレードインストール

6.1. ダウングレードインストール

既にインストールされている AP パッケージ運用管理機能よりも前のバージョンの AP パッケージ運用管理機能をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている AP パッケージ運用管理機能を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの AP パッケージ運用管理機能を新規インストールしてください。なお、AP パッケージ運用管理機能のアンインストール手順については「4. 本製品のアンインストール」、インストール手順については「3. 本製品のインストール」を参照してください。

7. 注意・制限事項

7.1. ダウングレードインストールにおける注意事項

既にインストールされている AP パッケージ運用管理機能よりも前のバージョンの AP パッケージ運用管理機能をダウングレードインストールすることはできません。ダウングレードする場合は、インストールされている AP パッケージ運用管理機能を一旦アンインストールしてから、古いバージョンの AP パッケージ運用管理機能を新規インストールしてください。

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 2.11 for Windows
インストールガイド
(AP パッケージ運用管理機能)

2026 年 4 月 第 13 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙